

みんなの拠点で なにをやってみたい？



※この絵はみんなの拠点の完成予想図です。

8月8日同時開催！！

「塗ってみよう会」

時間：10:00~12:00

場所：コノミヤ南花台店

の錆びている場所
(参加費無料、ただし汚れてよい服装で)

「まるまるカフェ」

日時：10:30~12:00

場所：コノミヤ南花台店

(参加費無料) 2階特設会場

関西大学の学生が企画するコノミヤ南花台店のサビをキレイに塗ってみる会と、さらに気軽に話していただける場も企画します！

第2回 南花台の未来を考える住民集会

日時：8月8日(土) 13:30~15:30

場所：コノミヤ南花台店 2階特設会場

内容

■第1回の議論のおさらいと、「みんなの拠点」の使われ方のイメージを共有する

7月4日の第1回住民集会で出た意見をみんなで振り返ります。

住民の皆様から出た思いやアイデアを元に「みんなの拠点」の使われ方のイメージを提案します！

■咲っく南花台の各ワーキンググループのテーマに分かれて、「〇〇やってみたい」を話し合う

咲っく南花台の各ワーキンググループのテーマ(健康仲間づくり、子育て・育ちなど)に関連させながら、「みんなの拠点」でやってみたい事をより具体的なイメージを共有します。そして、実際にできそうな事を考えてみます。

第3回 南花台の未来を考える住民集会

日時：9月19日(土) 13:30~15:30

場所：コノミヤ南花台店 2階特設会場(予定)

【南花台スマートエイジング・シティ プロジェクト】とは

『スマートエイジング・シティ』とは、高齢者だけでなく、いろいろな世代の人たちが、健康で自律的に、住み慣れた場所で安心して快適に暮らし続けることが出来る「まち」です。

このプロジェクトでは、河内長野市、大阪府、大学、民間企業が連携して南花台で『スマートエイジング・シティ』の実現を目指します。

□お問い合わせ□

関西大学 KSDP 団地再編プロジェクト 担当：倉知 / ☎06-6368-1111 (内線 6720)

河内長野市 政策企画課 担当：谷ノ上 / ☎0721-53-1111 (内線 340)

主催：関西大学 KSDP 団地再編プロジェクト / 共催：河内長野市・大阪府 / 協力：(株)コノミヤ・(株)タニタ・高野山大学・南海電鉄



2015年7月4日（土）に第1回南花台の未来を考える住民集会を開催しました！

テーマ：「みんなの拠点を考える」

第1回南花台の未来を考える住民集会

日時：2015年7月4日（土）13:30～15:30（カフェは10:00～12:00）

場所：コノミヤ南花台店特設会場

【住民集会で出たみなさんの意見】

◎よいところ ●気になるところ ☆こうなったらいいな

(1) 「みんなの拠点」が担う役割

- ☆南花台で暮らすみんなの居場所
- ☆四世代がつながるキッカケの場
- ☆防災・防犯の本部
- ☆みんなで子供を見守る
- ☆趣味を楽しむ・披露する場
- ☆子供たちの居場所
- ☆子育て世代を支える場
- ☆みんなで南花台を考えて行動にうつせる場
- ☆南花台の情報発信・収集・伝達の拠点

(2) 情報発信・共有基地としての「みんなの拠点」

- ☆南花台での出来事の情報発信、情報収集を行う
- ☆南花台における活動の窓口となる
- ☆南花台に関するホームページの管理を拠点で行う。（自治会、青少年等）
- ☆PCを持っていない人も情報が見れるように掲示板に貼り出す
- ☆聴きたいことを書いて誰かが答えてくれるような伝言板
- 情報発信源の信頼性が重要

(3) 子供たちを見守る拠点としての「みんなの拠点」

- ☆みんなで見守れる環境づくり
- ☆子どもがふらっとよって勉強を聞ける場所をつくる
- ☆学童の時間を過ぎた子や一人っ子の子がさみしい思いをしない
- ☆子供がいっぱい集まれる場になってほしい
- ☆ボランティアで子供達への英会話教室を開く
- ☆読み・書き・そろばん教室を開く
- ☆勉強だけでなく昔遊びなどのことも教われる

(4) 子育て世代を支える拠点としての「みんなの拠点」

- ☆仕事する親御さんや子作り世代が、子供を他の人に任せられたり、遊ばせておけて気分転換できたり休める場
- ☆授乳室・子育て世代を後押しできるスペース
- ☆ママさんコミュニティが生まれる
- ☆子育てママさんと子育て経験者が楽しくお話し合い

(5) 趣味や楽しみを共有し合う場としての「みんなの拠点」

- 集会所では教室が多く開かれていて月謝など取るが、みんなの拠点ではどうなるのか？
- ☆写真コンクール(南花台の季節の写真を集めることで、南花台をもっと知れる)
- ☆南花台には多彩な人材が多く存在することを活かしたい
- ☆みんなが音楽などを楽しめる機会をつくりたい

(6) みんなの居場所になる「みんなの拠点」

- ☆待ち合わせの場所 ☆行けば誰かいる場所にしたい ☆若い人との対話でよりよい拠点の利用 ☆入りやすい佇まい
- ☆食べ物はコノミヤで買って拠点で食べる ☆コーヒーコーナーのような気軽に立ち寄れる休憩場所
- ある特定グループが占拠しないようにしたい

(7) 「みんなの拠点」の佇まいや外側の提案

- あまり使われなくて暗いイメージにならないように、入りやすい環境づくり
- ☆外廊下の手すり部分はみんなできれいにして色を決めよう
- ☆外廊下は遊歩道のような空間
- ☆壁や窓がアートのようにカラフルであったり、生き生きとした雰囲気
- ☆天気で暖かくて気持ちいい日などは外で井戸端会議をする
- ☆専用の栽培できる鉢や、壁面利用、例えば〇〇さんの野菜などを売れたり、手入れしに来れる

(8) 「みんなの拠点」を持続させていくうえの不安

- 多様な世代が入り混じるにあたって、同じ人が来すぎて利用しにくい雰囲気にならないようにしたい
- 数年経過したら廃れてしまうようなことは防ぎたい
- ☆子供や子育て世代が来ることで、入りにくい雰囲気は緩和されるのではないかな
- ☆運営していく仕組みや組織、お金の流れをしっかりと決める
- ☆次の代、次の代へとつないでいけるようにする